

## 次回以降の進め方

# 次回以降の議論の進め方

## 【通信規格】

- 既存システムとの円滑な接合を図るため、**国際標準となっている又は、広く活用されている既存のプロトコルをベースに、アグリゲーションビジネスのユースケースに対応するための仕様のあり方**を検討すべきではないか。
- HEMSと家庭内機器の間の通信規格については、国際標準であるECHONET Liteが存在。そのため、**本検討会傘下に実務者レベルのWGを設置して、まずは蓄電池とHEMS等との間の仕様について検討し、第2回で報告を受けてはどうか。**その際、スマハビルWGにおいて、出力抑制とHEMSとの連携に関する検討が進められていることから、当該検討も踏まえた形としてはどうか。
- その他議論が必要なレイヤーについては、事務的に論点を整理したうえで、第2回以降に議論を深めてはどうか。

## 【その他】

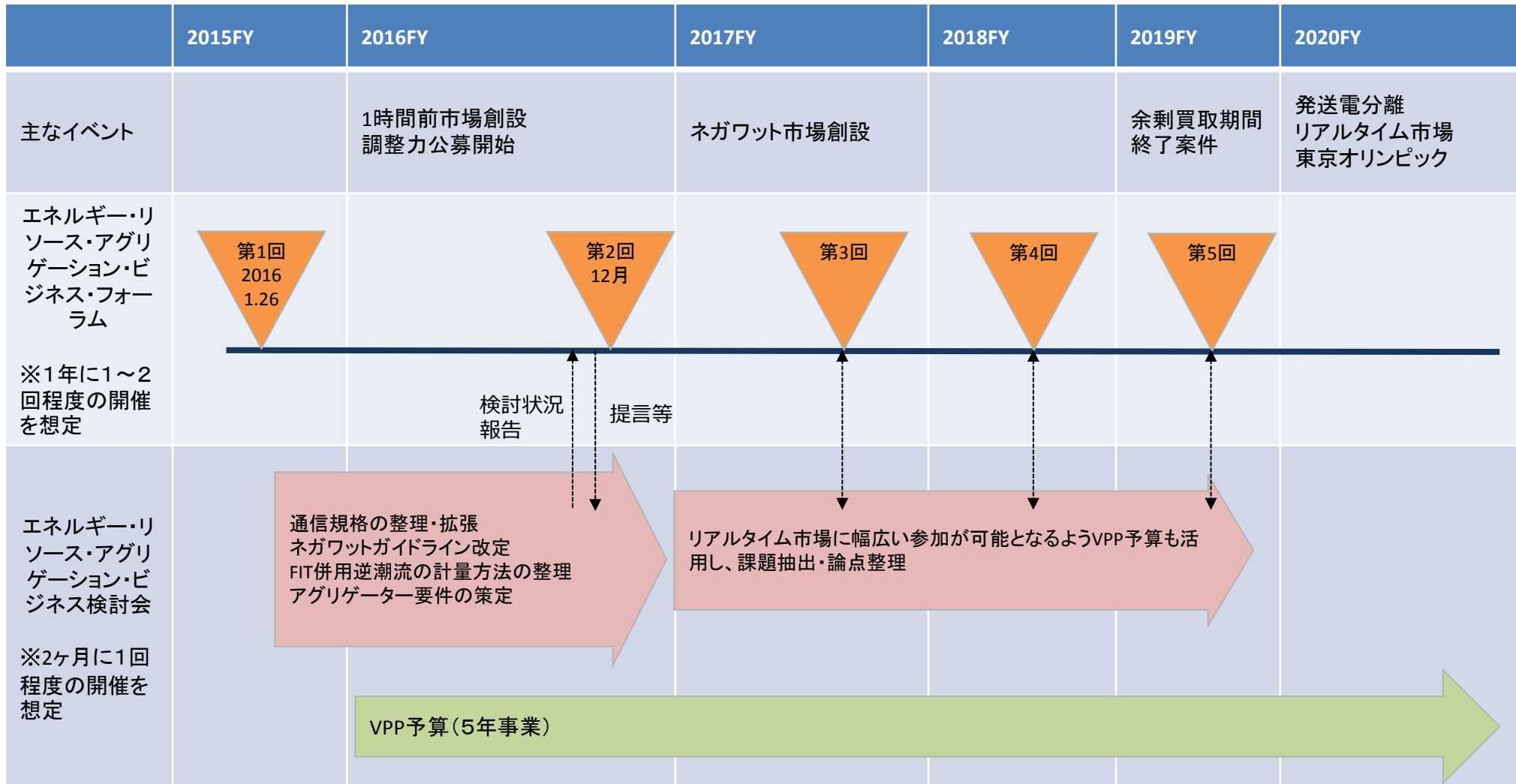
- 第2回以降、ネガワットガイドラインの検討状況の報告を受けるとともに、要件策定についても、具体的な議論をキックオフすることとしたい。
- また、FIT併用逆潮流については、本年度、委託調査等において検討を実施中。検討状況を随時共有する予定。

# 当面のスケジュール案

- 第2回（3 / 30（水）10：00～）
  - 蓄電池に係るECHONET Liteの仕様のあり方について、WGから検討結果を報告
  - 通信規格の全体アーキテクチャの整理に係る論点提示・議論
  - ネガワット検討会での検討状況を報告
  - FIT併用逆潮流に係る計量方法の整理について検討状況を報告
- 第3回（5～6月頃を想定）
  - 通信規格の全体アーキテクチャの議論を継続
  - ネガワット検討会での検討状況を報告
  - 必要に応じて議題を追加
- 第4回（7～8月頃を想定）
  - 要件策定に係る議論を開始
- 検討状況を踏まえつつ数回開催し、来年度内を目処に成果をとりまとめ

# (参考) スケジュール (案)

エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスは、改革2020プロジェクトとして東京オリンピックの際にショーケース化を目指している。第3回官民対話（11/26）総理指示も踏まえ、その取り組みを最大限加速させるべく、産学主体のフォーラム及び官主体の検討会を設置し、いわば車の両輪のようにビジネス創出と事業環境整備を連携して進めていく。



※制度設計については、経済産業省の他の検討会との連携を含む。

※ネガワット取引については、エネルギー供給構造高度化法や容量メカニズムにおける位置づけについても検討する方向。